

第35回 北海道障がい者冬季スポーツ大会 In わっさむ

わっさむ開村100周年記念

2月14日（日）、東山スキー場で13年ぶりの和寒開催となった北海道障がい者冬季スポーツ大会が開催されました。

大会には全道各地から選手148名（大回転50名、距離98名）、引率者80名、合計228名の方々が参加し、町内からは4名の選手が距離競技に出場しました。

当日は2月にはめずらしい雨が降るなどあいにくの天気となりましたが、選手の皆さんは練習の成果を十分に発揮し、ウィンタースポーツを満喫しました。

昼食会場となった公民館では、近隣の障がい者施設の方たちのパンや工芸品の他、和寒の特産品などの販売もおこなわれ、多くの来場者で賑わいました。



選手宣誓をする松浦健一さん



伴走者として選手をサポートする奥山町長



リフトに乗れない選手はスノーモービルで移動



チェアスキーで大回転競技



力走を見せる清水順一さん



特産品販売コーナーでは、選手やそのご家族など、多くの方にお買い上げいただきました。

町内出場者の成績

距離Dランク（150m）			
4組目	1位	松浦健一	38秒4
	2位	清水順一	49秒3
距離Cランク（500m）			
1組目	1位	樋口孝幸	3分18秒9
2組目	3位	大石和志	4分39秒7

（敬称略）